

エンジニア単価情報 2016年版 レポート

< 基幹・業務系エンジニア編 >

一般社団法人日本ニアショア開発推進機構

Ver1.0

全27
ページ

ニアショア機構特別セミナー (ユーザー企業向け) 2017年4月25日(火) 開催

「 他社と差がつく外注活用・働き方改革の最前線」
～エンジニア不足、100時間残業規制、派遣法改正を乗り越える方法～

以下のような課題をお持ちの企業ご担当者様に効果的です。

- ・ エンジニア不足の中でリソース確保が進まない
- ・ 新規外注先の開拓が進まない
- ・ コストの見直しを図りたい
- ・ ニアショアを活用したいが良い活用方法がわからない
- ・ 特定派遣廃止の猶予期間が終わった際の影響範囲が見えない
- ・ 偽装請負に対する取り組みが不十分 など

(スピーカー)

一般社団法人日本ニアショア開発推進機構
代表理事・IT調達スペシャリスト
小林 亮介

詳細やお申し込みはこちらからいただけます。
http://www.nearshore.or.jp/news_20170412/

はじめに

(概要)

ユーザー企業及び独立系システム開発会社にインタビューと数値分析を実施し、2016年度版業務系・基幹系エンジニア単価をまとめました。

(2016年版の変更点)

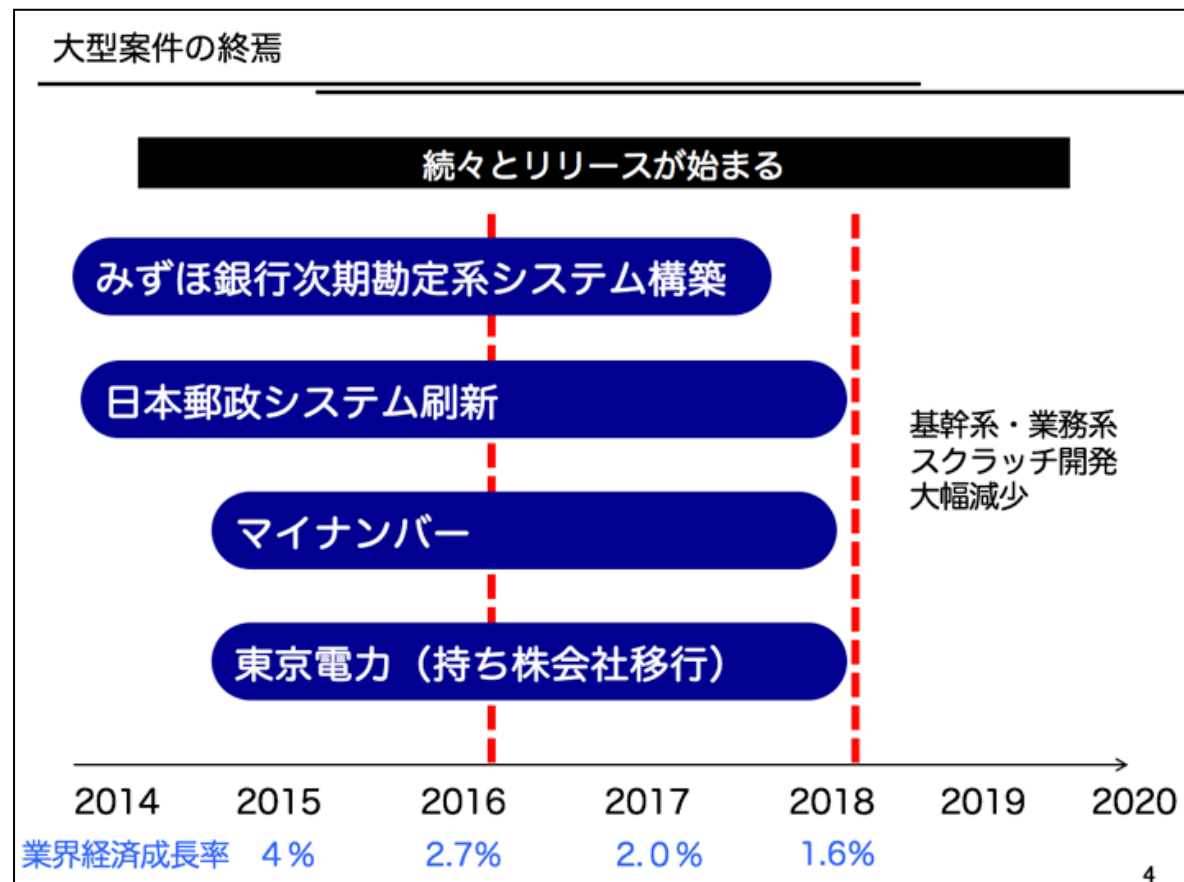
今回は、新たに運用系カテゴリを新設し、14の役割とレベルを追加して、これまで以上に幅広い領域の単価情報を提供しています。

(ポイント)

昨年までは、エンジニアの圧倒的不足の割にはの単価の上昇幅が少ないという声が多くございましたが、2016年は総じて単価の上昇が見られます。

市場概況 大型案件の終了

みずほ銀行をはじめとした大型案件も2018年頃までに段階的にリリースすると言われており、基幹・業務系エンジニアの需給バランスは緩和が予想されますが、Web系エンジニア需要は強く、全体としては依然としてひっ迫傾向が続く見込みです。



2018年秋から、派遣事業の許可制へ一本化され、特定派遣が廃止されます。一般派遣事業の許認可取得が困難な企業も多く存在することから、外注先の見直しと開拓が必要となります。

派遣契約では、準委任契約のように多重階層構造を形成することは法令違反となりますので、派遣会社やシステム開発会社と直接契約することになります。これにより、単価に影響することが予想されます。

労働者派遣事業の許可制への一本化

一般派遣の許認可取得が困難な企業が一定数存在

<一般派遣事業における許認可取得の要件>

- ① 貸借対照表での純資産が2000万円×事業所数以上あること
- ② 現金・預金の額が1500万円×事業所数以上あること
- ③ 雇用管理経験を3年以上もつ派遣元責任者の配置
- ④ 20平米以上の広さがある事務所（暗黙値ルール）

IT職種での一般派遣は4万人、特定派遣は6万人従事

(ITに関する派遣会社6500社)

市場概況 ユーザー企業の外注活用方法の多様化

東証1部上場の大企業レベルでも、外注活用の多様化が進んでいます。大手SIに発注する領域とその他の切り分けが明確になってきています。エンジニア派遣・準委任の契約についてやコスト削減余地があることが浸透しつつあり、見直しも進んでいます。

契約形態の整理① 業務委託契約と派遣契約

業務委託契約

- ・指揮命令はできない
- ・契約範囲を明確化して、受託者が業務を遂行

請負契約
(民法632条)

準委任契約
(民法656条)

委任契約

派遣契約

- ・指揮命令をしなくてはならない
- ・派遣元と労働者で雇用関係が発生

特定派遣

一般派遣

※1 業務委託契約とは、請負契約と準委任契約の総称として使用されていますが、法的に明確な記載がある用語ではありません。

※2 会社によって、準委任と請負について法律と異なる意味で用いている場合があります。関連用語も存在しますので、注意が必要になります。

請負契約 仕事を完成させることを約束し、その成果物に対して対価を得る契約形態になります。

準委任契約 法律行為以外の事務を行うことを受諾した者が自分の責任・管理のもとで、その事務の処理を行うことを約束する契約形態になります。

調査区分について



役割別基幹・業務系エンジニア単価 ●プロジェクトマネジメント系

職種	職種名	役割	レベル	概要	2015参考価格 (時間)	2015業務系単価 (月額)	2016参考価格 (時間)	2016参考価格 (月額)	増減幅
プロジェクト管理	プロジェクトマネージャー	プロジェクトマネジメント	5	プロジェクトの計画立案、工程管理、および外部との交渉・調整などを行う。優先順位付け、関係部門との調整、およびプロジェクト・チームが正しい目標に集中するための全般的な管理を担当する。主に大規模プロジェクトまたは複雑なプロジェクトの管理を担当。	7,000	1,120,000	7,050	1,128,000	0.7%
			4	プロジェクトの計画立案、工程管理、および外部との交渉・調整などを行う。優先順位付け、関係部門との調整、およびプロジェクト・チームが正しい目標に集中するための全般的な管理を担当する。	5,300	848,000	5,400	864,000	1.9%
		リソースマネジメント	4	組織の要員構成の検討やチーム編成、ベンダコントロール、外注管理等の人的リソース管理、および、見積り、予算管理、利益・コスト管理や契約関係等の資源管理を担当する。	5,250	840,000	5,300	848,000	1.0%
			3	組織の要員構成の検討やチーム編成、ベンダコントロール、外注管理等の人的リソース管理を担当する。	4,800	768,000	4,850	776,000	1.0%
		品質マネジメント	4	プロジェクトおよびシステムの品質に対する定義・測定・評価を行う品質管理を担当する。また、テストプロセスや手法の立案・標準化も担当する。	5,000	800,000	5,100	816,000	2.0%
		移行管理	4	本番環境への移行に責任を持つ。移行計画を立案し、適切に実施されることを保証し、問題や進捗を管理を担当する。	5,000	800,000	5,100	816,000	2.0%
		構成管理	3	開発チームや組織が活用するための、ソフトウェア構成管理環境の提供を担当する。また、構成管理ポリシーや変更管理ルールを組織への提供を行うことも含まれる。	4,500	720,000	4,650	744,000	3.3%
		プロジェクトマネジメントアドミニストレーション	3	チームのスケジュールや予算、タスクについての進捗管理を行い、作業計画の更新と作業指示を行う。	4,000	640,000	4,100	656,000	2.5%

備考：増減幅は他職種よりは小さい

役割別基幹・業務系エンジニア単価 ●アナリスト系

職種	職種名	役割	レベル	概要	2015参考価格 (時間)	2015業務系単価 (月額)	2016参考価格 (時間)	2016参考価格 (月額)	増減幅
要件定義/要求分析	アナリスト	IT戦略	5	新規ビジネスの立ち上げ、およびビジネス設計について、経営戦略を考慮して、IT戦略を立案する。	-	-	-	-	-
		ビジネス分析	5	業務や組織に対する調査・分析および企画・改善提案を行う。ビジネスルールの策定やシステム化企画も実施する。	5,500	880,000	5,850	936,000	6.4%
		システム分析	4	システム化に際して要求収集および要求定義をリードし、開発範囲を管理する。また要求を理解し、優先順位を調整する。	5,000	800,000	5,400	864,000	8.0%
		要求分析 (システム全体)	5	システム化に際して要求収集および要求定義をリードし、開発範囲を管理する。また要求を理解し、優先順位を調整する。システム全体（インフラ・アプリケーション）を担当する。	-	-	5,750	920,000	-
			4	ユーザと開発チームのインターフェースとなつて、要件の収集や調整を行う。また、チーム作業をリードする役割も担う。システム全体（インフラ・アプリケーション）を担当する。	-	-	5,350	856,000	-
		要求分析 (アプリケーション)	3	機能要求、シナリオ、フローや、そのほかの付随するユーザー要求を収集し、文書化する。	4,750	760,000	4,950	792,000	4.2%
			2	指示に従い、ヒアリングを中心とした情報収集を行い、その文書化を行う。	4,200	672,000	4,400	704,000	4.8%

役割別基幹・業務系エンジニア単価 ●ITアーキテクト系①

職種	職種名	役割	レベル	概要	2015参考価格 (時間)	2015業務系単価 (月額)	2016参考価格 (時間)	2016参考価格 (月額)	増減幅
設計	アーキテクト	エンタープライズアーキテクチャ設計	5	システム全体の視点から、システム構造と設計指針についての決定を行う。また、システム構造および利用技術に責任を持って作業をリードする。	5,650	904,000	6,000	960,000	6.2%
		ソフトウェアアーキテクチャ設計 (基本設計)	5	大規模システム、またはデータ連携が複雑なシステムや高いサービスレベルが要求されるシステムを対象に、ソフトウェアの構造および利用技術に責任を持って作業をリードし、ソフトウェア構造の設計、実現可能性の検証、設計指針の提示、および成果物の指示を行う。	5,650	904,000	6,000	960,000	6.2%
			4	比較的小規模なシステムを対象に、技術の選定・ソフトウェア構造の決定・設計チーム（数人程度）のリードを行う。	5,200	832,000	5,570	891,200	7.1%
		アプリケーション設計 (詳細設計)	3	ソフトウェアに対する要求を、実装環境で実現するための設計作業を行う。コンポーネントの入出力設計や設計文書作成も含まれる。	4,600	736,000	4,750	760,000	3.3%
			2	基本設計やアーキテクチャ方針に従って、上位者の指示のもとに、機能レベルの詳細設計（モジュール設計、クラス設計など）を行う。	4,200	672,000	4,380	700,800	4.3%
		データベース設計	4	データベーステーブルの論理構造の定義を行い、必要に応じて物理テーブルの設計、インデックスの定義等、データベース固有の技術要素を用いた定義も行う。	4,900	784,000	5,200	832,000	6.1%

役割別基幹・業務系エンジニア単価 ●ITアーキテクト系②

職種	職種名	役割	レベル	概要	2015参考価格 (時間)	2015業務系単価 (月額)	2016参考価格 (時間)	2016参考価格 (月額)	増減幅
設計	アーキテクト	テスト設計	3	必要となるテストの識別と定義および、テスト対象に求められる品質に基づくテスト結果の定義、テストデータの準備およびテストカバレッジの確認を担当する。 また、テストツール、ガイドラインの準備等、テストの実装および自動化に必要な環境と手順の作成を担当する。	4,700	752,000	4,980	796,800	6.0%
		アプリケーション運用 保守 (分析・調査)	3	稼働中のアプリケーションに対して、データ不具合発生やパフォーマンス低下時の難度・複雑性が高い2次障害対応（ボトルネック分析・調査）を担当する。あわせて各種ソフトウェアのバージョンアップ等のマイグレーション・新技術対応の事前分析・調査も担当する。	-	-	4,700	752,000	-
			2	稼働中のアプリケーションに対して、データ不具合発生やパフォーマンス低下時の1次障害対応（ボトルネック分析・調査）を担当する。	-	-	4,200	672,000	-
		運用設計	4	システム運用業務の立ち上げや業務改善に際して、運用業務と使用技術を理解して、運用フローや運用ルールの設計・最適化を行う。また、必要に応じてアプリケーション導入やシステム改善の提案を行う。	5,100	816,000	5,400	864,000	5.9%
		インフラ設計	4	個別システムを対象に、技術の調査と選定・システム基盤の設計を担当し、受け入れ時の検証も行う。加えて、運用フローや運用ルールの設計・最適化を行う。	-	-	5,500	880,000	-

役割別基幹・業務系エンジニア単価 ●デベロッパ系

職種	職種名	役割	レベル	概要	2015参考価格 (時間)	2015業務系単価 (月額)	2016参考価格 (時間)	2016参考価格 (月額)	増減幅
実装	デベロッパ	プログラミング	3	特定のプログラミング言語について、 高度な技術を使用した実装 を行う。また、デバッグやチューニングも担当する。	4,050	648,000	4,250	680,000	4.9%
			2	プログラミング言語を利用して、モジュール・ファンクション・サブルーチンの実装および単体テストを行う。	3,300	528,000	3,500	560,000	6.1%
		テストイング	2	テストの実装、セットアップと実行、テスト結果の収集を担当する。	2,700	432,000	3,050	488,000	13.0%

備考：

使用言語（Java,PHP,.NET等）にも依存。

大規模案件に実装・テスト工程が集中し、ニーズが高く増減幅が大きい。

役割別基幹・業務系エンジニア単価 ●システム運用系

職種	職種名	役割	レベル	概要	2015参考価格 (時間)	2015業務系単価 (月額)	2016参考価格 (時間)	2016参考価格 (月額)	増減幅
システム運用	システムアドミニストレータ	運用マネジメント	5	組織全体のシステムの運用における運用計画策定、運用業務、サービスの維持、監視、障害予防及び障害回復の管理・監督を担当する	-	-	5,950	952,000	-
		運用マネジメント	4	特定のシステム運用における通常時の運用フロー（運用体制を含む）を管理する。また、障害予防・サービス維持活動のための作業も行う。	-	-	5,630	900,800	-
		運用アドミニストレーション	3	コンピュータシステムの運用業務、サービスの維持、監視、障害予防及び障害回復を担当する。 アウトソーサーからのエスカレーションも担当する。	-	-	4,700	752,000	-
		運用アドミニストレーション	2	指示に基づき、定型的なシステム運用、サービスの維持、監視作業を担当する	-	-	3,550	568,000	-
		システムオペレーション	1	システムの運用において、定期的運用業務を担当する	-	-	3,000	480,000	-

役割別基幹・業務系エンジニア単価 ●システムサポート系

職種	職種名	役割	レベル	概要	2015参考価格 (時間)	2015業務系単価 (月額)	2016参考価格 (時間)	2016参考価格 (月額)	増減幅
クライアントサ ポート	サービスデスク	ヘルプデスクマネジメ ント	4	運用中のシステムに関して、障害や質問など ユーザからの問い合わせ対応と、トラブル解決 の管理・監督を担当する。	-	-	5,000	800,000	-
		ヘルプデスク	3	運用中のシステムに関して、障害や質問など ユーザからの問い合わせ対応と、トラブル解決 を行う。また、システムを円滑に運用するた めのユーザへの説明、指導を担当する。	-	-	3,750	600,000	-
		テクニカルサポート	2	運用中のシステムに関して、障害や質問など ユーザからの問い合わせ窓口として、システム を円滑に運用するためのユーザへの説明、指導 を担当する。	-	-	3,400	544,000	-
		インストラクション	2	製品やアプリケーション、および業務ルール等 のインストラクションおよび教育を担当する。	-	-	3,200	512,000	-

ニアショア機構特別セミナー (ユーザー企業向け) 2017年4月25日(火) 開催

「 他社と差がつく外注活用・働き方改革の最前線」
～エンジニア不足、100時間残業規制、派遣法改正を乗り越える方法～

以下のような課題をお持ちの企業ご担当者様に効果的です。

- ・ エンジニア不足の中でリソース確保が進まない
- ・ 新規外注先の開拓が進まない
- ・ コストの見直しを図りたい
- ・ ニアショアを活用したいが良い活用方法がわからない
- ・ 特定派遣廃止の猶予期間が終わった際の影響範囲が見えない
- ・ 偽装請負に対する取り組みが不十分 など

(スピーカー)

一般社団法人日本ニアショア開発推進機構
代表理事・IT調達スペシャリスト
小林 亮介

詳細やお申し込みはこちらからいただけます。
http://www.nearshore.or.jp/news_20170412/

外注活用最適化 支援サービスのご紹介

代替リソース紹介も含め、高いコスト削減効果を実現します。

[お問い合わせはこちらからいただけます。](http://www.nearshore.or.jp/contact/)
(<http://www.nearshore.or.jp/contact/>)

外注活用最適化支援コンサルティングサービスご説明

発注コスト妥当性評価サービス （派遣・準委任契約ITエンジニア対象）

偽装請負リスク評価サービス （準委任契約ITエンジニア対象）

派遣法改正影響度調査サービス （派遣契約ITエンジニア対象）

以下のような課題をお持ちの企業ご担当者様に効果的です。

- ・現状の発注単価が妥当なのかわからない
- ・派遣法改正で自社にどれくらいの影響があるか知りたい
- ・派遣法改正の対応を始めたいが、やるべき事の整理ができていない
- ・偽装請負に対する取り組みが不十分
- ・偽装請負対応について理解を深めたい
- ・偽装請負が社内にどれくらい存在しているか把握したい
- ・エンジニア不足の中で今後のリソース確保が不安 など

詳細はこちらからご確認ください。

(<http://www.nearshore.or.jp/solutions/consulting/>)

外注活用最適化支援コンサルティングサービスご説明

発注コスト妥当性評価サービス（派遣・準委任契約ITエンジニア対象）

●アウトプット例

プログラミング

全般的に高価な単価で調達している。
全体でも約半数が再委託先を活用しており、
コンプライアンス面でもリスクが存在する。

役割名	総数	外注	平均 単価	最大値	最小値	市場 単価	市場 差異
プログラミング レベル3	150	75	750	780	650	610	140
部門A	100	30	700	770	650	610	90
部門B	30	25	780	780	630	610	170
部門C	20	25	730	760	620	610	120
プログラミング レベル2	180	90	650	700	600	530	120
部門A	80	35	630	700	600	530	100
部門B	60	30	680	650	620	530	150
部門C	40	25	640	650	600	530	110

月額（千円）

年間削減効果
2500万

年間削減効果
3000万

ニアショア活用による代替ソースも提案可能なので
素早くコスト最適化が可能です。

外注活用最適化支援コンサルティングサービスご説明

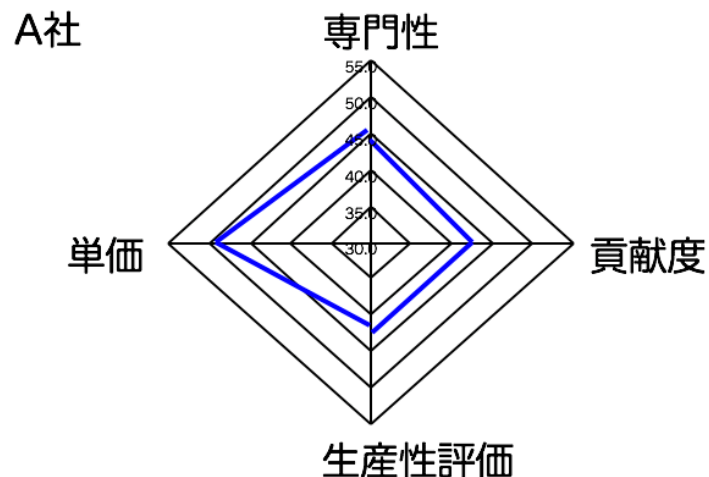
発注コスト妥当性評価サービス（派遣・準委任契約ITエンジニア対象）

●アウトプット例

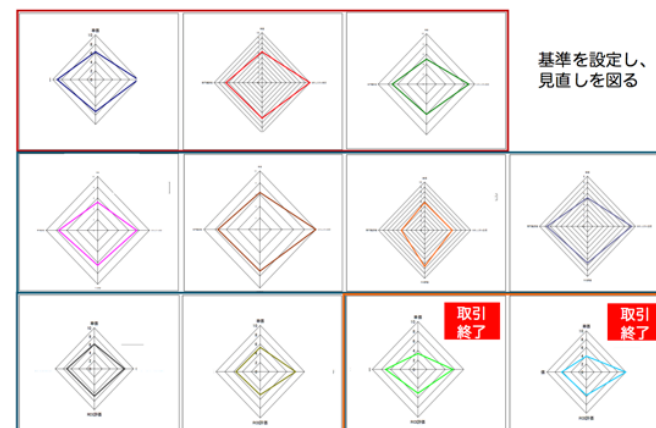
●外注先詳細評価レポート

企業名	単価	役割	生産性評価	専門性評価	再委託
山田	5800	ITA Lv4	高い	高い	-
鈴木	4500	PG Lv3	低い	普通	あり
田中	3000	PG Lv2	普通	低い	-

外注先企業の所属エンジニアの生産性や価格との比較、依存度などを集計しマトリックス化し、外注先全体を可視化します。企業の評価が明確になりますので、見直しのインプット情報となります。



外注先全社比較



ニアショア開発 活用のご紹介

～コスト最適化と調達力の強化を実現～

お問い合わせはこちらからいただけます。
(<http://www.nearshore.or.jp/contact/>)

ニアショア開発が注目を集める3つの理由

1

高いプロジェクト遂行力

地方では、首都圏の会社と比較して、派遣型ではなく請負開発の比率が高いのが特徴のひとつです。

そのため、組織として開発プロジェクトをモニタリングする仕組みを持っているところも多く、安定したプロジェクト遂行が可能となります。

2

割安感のあるコストパフォーマンス

コストは首都圏の70%~90%が実現可能です。

言葉の壁もないので、とても魅力がある発注手段と言えます。

3

優秀なエンジニアリソースの確保

70社約9,000名のエンジニアリソースから最適なチーム、契約形態を選択可能。

ニアショア開発ご説明 コミュニケーション

客先常駐と変わらないコミュニケーション環境の実現



Cisco
webex

skype™

appear.in



資料共有を普段の会議と同様レベルに

ツールを活用し、高品質を実現します

最先端の開発環境の準備とトレーニングを実施

プロジェクト管理



開発でのコミュニケーション



ソースコード管理



継続的インテグレーション



Jenkins

地方システム会社向け 認定・会員制度

お問い合わせはこちらからいただけます。
(<http://www.nearshore.or.jp/contact/>)

地方システム会社が知っておかなければならない情報の発信

■ニアショアアソシエーション



ニアショア開発のイメージ確立と普及を目的として、2014年9月に設立されたニアショア事業者団体です。

参加企業70社・総エンジニア数約9,000名で構成されています。

- ・企業力を向上させる： セミナー、勉強会の開催
- ・首都圏発注企業動向を知る：ニアショア案件情報の提供

<会費>

- ・入会金2万円 ・年会費10万円（税別）

ニアショア機構取組みのご紹介

発注企業に安心と信頼を提供

■認定ニアショアベンダー制度



認定ニアショアベンダー制度とは、当機構が定めた認定ガイドラインに適合し、適切なプロジェクト遂行が実施できる体制を整備している事業者を認定し、その名称およびロゴマークを事業活動に活用いただくための制度です。

●認定費用

企業規模	小規模	中規模	大規模
従業員数	～50名	51名～200名	201名～
申請・審査料	30	40	50
登録認定料	5	5	5
合計	35	45	55

●更新費用（2年更新）

企業規模	小規模	中規模	大規模
従業員数	～50名	51名～200名	201名～
申請・審査料	20	25	30
登録認定料	5	5	5
合計	25	30	35

お問い合わせ

認定ニアショアベンダー制度、ニアショアアソシエーションの詳細についてはこちらからご確認ください。

検索 ニアショア機構 会員制度

または

<http://www.nearshore.or.jp/certification-membership/>

ニアショア活用・サービスに関するお問い合わせ、
ホワイトペーパーの内容について、ご不明な点、ご質問等
ございましたら、お気軽にメール、またはお問い合わせフォームより
ご連絡ください。

お問い合わせフォーム：<http://www.nearshore.or.jp/contact/>



info@nearshore.or.jp